

日本放射線技術学会 中国・四国支部セミナー

緊急画像診断・検査の最前線 ―その傾向と対応―

『今、その画像検査が必要な理由』

主催：公益社団法人 日本放射線技術学会中国・四国支部

近年、緊急画像診断・検査は、多くの診療科から依頼され、その重要性は高まる一方です。緊急画像診断・検査を日常検査の中に組み込むには、ある程度の検査時間の確保が必要であり、予約検査が主体の施設においては、この対応に苦慮する場面が多々あります。

そこで、日常の予約業務を行いながら、どのように緊急画像診断・検査に対応するべきかについて、検査を依頼する医師の立場からは、今その検査が必要な理由や目的をガイドラインやエビデンスと共に解説していただきます。また技師の立場からはそれぞれの症例ごとにどのような対応を行っているのか、そのための体制づくりや撮影技術および安全管理等の構築はどのようにするべきなのかをご講演いただきます。多数のみなさまのご参加をお待ちしています。

記

日時：平成28年1月16日（土）13時受付 13時30分～17時

会場：岡山県倉敷市松島316 川崎医療短期大学体育館講義室（101号教室）

交通アクセス：<https://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/guide/07.html>

参加費：会員1,000円 非会員2,000円 学生無料（要学生証）

会員カードによる出席登録を行いますので会員証をご持参ください

プログラム

司会 川崎医科大学附属病院 中央放射線部 吉田耕治

1. 医師の立場から（13:30～15:00）

○「外傷に対する画像診断―整形外科医は何を考えているか？―」

川崎医科大学附属病院 整形外科医長

川崎医科大学 脊椎・災害整形外科 講師 大成和寛 先生

○「緊急画像診断が必要な体幹部領域の疾患とその画像所見」

川崎医科大学附属病院 放射線科医長

川崎医科大学 放射線医学 講師 山本 亮 先生

2. 診療放射線技師の立場から（15:10～16:40）

○「緊急CTの現状と役割」

倉敷中央病院 放射線技術部 CT検査室 室長 山本浩之 先生

○「当院の緊急MR検査、地方病院の現状」

綾部市立病院 放射線技術科長 村上昭彦 先生

○「緊急MRI検査に対応できていますか？～検査準備から撮像プロトコルまで～」

戸畑共立病院 画像診断センター 診療放射線技師長 山本晃義 先生